

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	電磁気学Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／必修科目(電気エネルギーコース)／選択必修科目(情報システムコース)						
担当者	江上 典文						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・静磁界の基本量の記号や単位を覚える。(A2) ・真空中に複数の直線電流を流したときの磁界を求めることができる。(A2) ・コイルに電流を流したときの磁界を求めることができる。(A2) ・単純な場合の自己インダクタンスを求めることができる。(A2, A7) 						
日程と内容	9/18 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、磁極と磁界 9/25 電流がつくる磁界 10/2 磁束密度に関するガウスの法則 10/9 アンペールの法則 10/16 電流に働く磁気力 10/23 荷電粒子に働く磁気力 10/30 磁性体 11/6 電流と磁界のまとめ 11/13 電磁誘導 11/20 自己誘導と相互誘導 11/27 磁気エネルギー 12/4 過渡応答回路 12/11 交流の基礎 12/18 交流回路 1/9 総合演習 1/16 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	30%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・静磁界の基本量の記号や単位を覚える：達成 ・真空中に複数の直線電流を流したときの磁界を求めることができる：達成 ・コイルに電流を流したときの磁界を求めることができる：達成 ・単純な場合の自己インダクタンスを求めることができる：達成 						
反省点	成績評価結果の分析から、授業内容をよく理解しているグループと、あまり理解していないグループに2極化しており、理解できていないグループへの対応が手薄であった。						
来年度の計画	授業内容をさらに精査して、時間的な余裕をつくることで、基本的な事項に関しては、より丁寧で、噛み砕いた説明を行うよう心がける。						
授業評価アンケートに対するコメント	アンケートでは「わかりやすい」との意見も多かった反面、授業内容の理解と興味が平均より低かった。授業内容をさらに精査し、より丁寧で噛み砕いた説明を行うよう心がける。						
履修登録者数	67名	定期試験 受験者数	62名	合格者数	39名	合格率	63%